

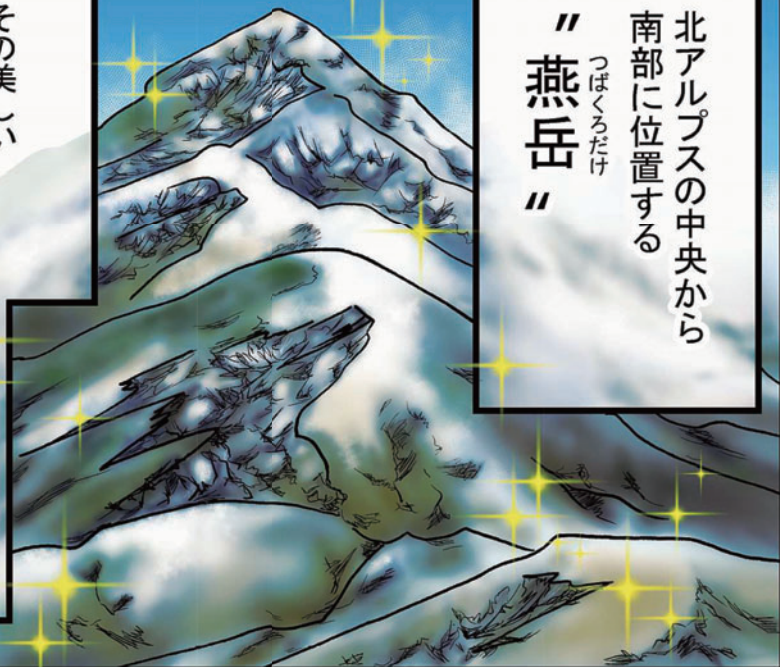
山のマナーは
「早出早着」

「遅出遅着」の惨劇!

その美しい
山容から
付けられた別名が

「北アルプスの女王」

北アルプスの中央から
南部に位置する
つばくろだけ
“燕岳”



すみません
遅井おそいです……
チェックインに
間まにあおない
連絡れんらくを入れたた

ハ
承うけたまわっておりますー

私は東京都住の
遅井おそいです

明日は長野県の山へ
登るため
穂高駅前のホテルに
前のりしてきました……

ありがとうございます

ウエルカム
ドリンクです





翌朝
AM 6時——

じゃ
行ってきまーす

行っ
てらっし
やい
ませ

今日は絶景の
登山日和だなー



はやではややく

「早出早着」をした

早井さんは予定通り

山頂で景色を

満喫したあとと燕山荘へ下り
ダイナーを楽しんでました

燕山荘

おなか
減った

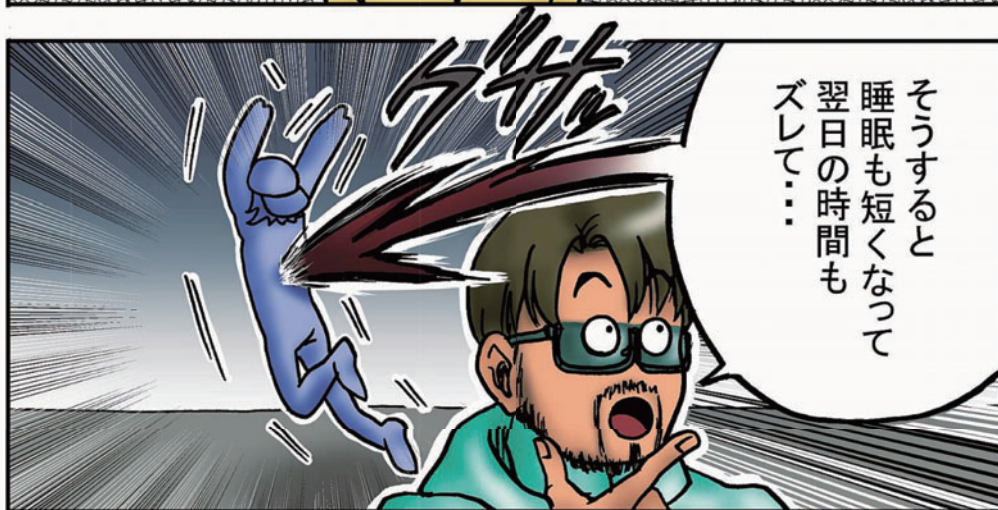
カツカレー
最高



合戦尾根が
想像以上にキツくて
7時間以上
かかっちゃいました

き……
昨日は……





身支度が散漫になったり



体調も万全に整えられなかったり



注意不足になったり

ゴロゴロ...

えっ雨!?

また午後の天候は局地的に大崩れしやすくなりますが

その対処もないまま……



リスクの高い登山となつて……

うん？
どうしました

「早出早着」は
登山の基本的
マナーです

常にゆとりを持って
行動をとれば
思いがけない
アクシデントにも
対応できます



登山は常に
危険と隣り合わせです

みなさん「早出早着」で
良い登山ライフを
送りましょう!!



『昭和の懐かしさ』を感じる北アルプスの山小屋

野口五郎小屋／上條盛親さん



野口五郎岳 (2,924m) について

Q 野口五郎岳の名前の由来を教えてください。

A もともと大町市に「野口」という地区があって、そこから大きな山が見えて、大小の石がゴロゴロしている。「ゴーロゴロ」から「五郎」。そうやって野口五郎岳と名前が付いたようです。歌手の野口五郎さんのお名前も山から付けたようです。残念ながらご本人は小屋まで来たことはありませんが…。

野口五郎小屋について

Q 山小屋はいつ建てられましたか？

A 昭和39年(1964年)に父親が建てました。もともと、このあたりは裏銀座の縦走ルートの中でも山小屋の空白地帯で登山者の遭難が多かったそうです。そのため、避難小屋の目的で建てられた山小屋ですね。

山小屋の魅力

Q 山小屋の特徴を教えてください。

A 木造2階建て、昔のまんまの小さな山小屋です。来た人は皆、びっくりするけど今では珍しい「昭和」を感じさせる山小屋です。小屋のまわりは、とにかく風が強くて干した布団が飛ばさ

れるくらいです。天気が荒れると立っていられず、小屋もドーンと揺れる。屋根が飛ばされたこともあります。傷んだところは自分たちや知り合いの仲間でも何度も直してきた手作り小屋です。屋根

の重しに大きめの石と丸太を置いて風対策をしています。

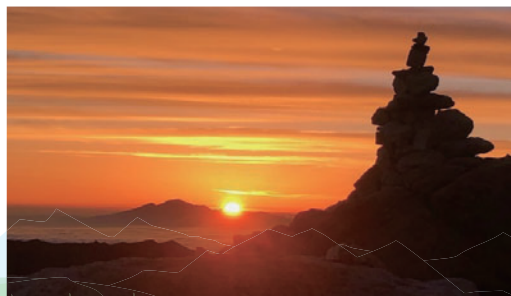
自慢は何といっても頂上からの景色です。表銀座はじめ、水晶、薬師、赤牛、立山、白馬、富士山など360度の眺めは素晴らしいです。特に目の前の硫黄岳と槍ヶ岳がドーンと見えて迫力があって、感動するお客さんも多いです。自信をもっておすすめできる最高の絶景ポイントですね。



以前の山小屋



現在の山小屋



おすすめルート

Q おすすめのルートは？

A やはり、早く稜線に出られるのはブナ立尾根ですね。健脚の人が朝早く出れば、烏帽子小屋から五郎小屋、水晶小屋まで行けます。無理をしない登山ということで、是非とも小屋泊りをお勧めします。2日目は戻ってもいいし、その先に足を延ばしてもいいし。烏帽子、五郎、水晶、三俣、双六、さらには雲の平や高天原に行けますからね。大体、2～3時間ごとにいい場所に山小屋がありますから、天候や体調と相談してください。ただし、高瀬ダムの登山口を入った濁沢の河原付近は、雨天時には荒れることがあるので、通行する際は、十分に注意してください。



1日目＜行動時間 約9時間＞

七倉～高瀬ダム登山口～ブナ立尾根～三角点～烏帽子小屋～野口五郎小屋

2日目以降

野口五郎小屋から各方面に縦走可能

- ・裏銀座コース（槍ヶ岳、上高地へ）
- ・読売新道コース（水晶岳、赤牛岳）
- ・竹村新道コース（湯又温泉）
- ・高瀬ダム登山口へ折り返し ほか



エピソード

Q 登山者のエピソードを教えてください。

A 何年か前のことですが、聴覚障害のある二人組のお客さんが、夕方になっても到着しません。そこで小屋のスタッフや遭対協の人たちと探しに向かいました。当時は通信状態が悪く、携帯電話もつながりません。野口五郎岳は二重稜線になっているので、二手に分かれて真っ暗の中、懐中電灯で足元を照らしながら歩きました。お客さんの名前を大

声で呼んでも返事はありません。ひたすら歩いたあと、縦走路から少し離れた場所で光を発見。「あっ、いた。あそこだ!」。ハイマツや岩場で明滅する光を頼りに二人に合流。疲れた様子でしたが、何とか小屋まで連れて帰ると、他の登山客の皆さんが「よかった!よかった!」と玄関先や食堂で迎えてくれました。

山小屋からのメッセージ

Q 小屋のファンが多いそうですね。

A おかげさまで「親父さんの顔を見に来たよ!」と言ってくれる人もいます。「水や野菜が不足している」と言うと、わざわざ背負って持ってきてくれた方もいました。オリジナルTシャツや手ぬぐいも小屋のファンの方がデザインしてくれたおかげで、人気商品となっています。大勢の人たちに支えられている山小屋です。本当にありがたいです。

Q 登山者へのメッセージをお願いします。

A 野口五郎小屋は小さな小屋です。何のおもてなしもできませんが、レトロな雰囲気味わってほしいですね。親が遭難防止のために建てた山小屋なので、体が動くうちは、登山客のために小屋を守っていききたいですね。

(今年の営業は7月中旬～9月25日までの予定)



野口五郎小屋



北八ヶ岳と白駒池の魅力にあふれた山小屋

白駒荘 辰野 廣茂さん

北八ヶ岳と白駒池の魅力

長野県と山梨県との間に位置する「八ヶ岳」。夏沢峠を境に「北八ヶ岳」と「南八ヶ岳」に分かれています。荒々しい岩稜帯が続く南八ヶ岳とは対照的に、北八ヶ岳はなだらかな山容で森の中を歩くコースが多く、八ヶ岳入門にはぴったり。気軽なハイキングから登山を始めたばかりの方でも登れるコースをご紹介します。500種類近くの種類が見られる「苔の森」

や美しい池を巡るコースも。四季折々で違った表情を見せてくれる北八ヶ岳の魅力に迫ります。

北八ヶ岳は原生林の中に生い茂る苔が有名で、樹々の下一面に緑の絨毯が広がっています。

500種類近い貴重な苔を見られる国内でも稀な場所で、神秘的な苔の森を満喫できるトレッキングはとても人気。



満面に清水をたたえた神秘的な湖「白駒の池」

標高2100m以上の湖としては日本最大の天然湖で、国道299号沿いの駐車場から歩いて約15分程度で白駒の池まで行けます。湖までの歩道の周りは樹齢数百年の時を刻んだコメツガ、トウヒ、



シラビソの原生林で、地上はまるで緑の絨毯を敷き詰められたような苔が一面を覆っています。春は遅く5月でも雪が見られます。可憐なピンクの花をつけるイワカガミが遅い春の訪れを知らせ、ナナカマドが赤い実をつける晩秋まで急峻な高山に登らなくても子どもからお年寄りまで、気軽に高山植物や大自然の織りなす季節の移り変わりを見ることができます。また、秀峰八ヶ岳の登山やトレッキングの玄関口としても有名です。

おすすめコース

麦草峠～(1'00)～丸山～(0'15)
～高見石～(0'40)～白駒の池
～(0'30)～麦草峠

＜コースタイム2時間25分＞

麦草峠をベースに高見石、白駒の池をまわるコースがおすすめです。丸山や高見石に登ったり、白駒の池を見たり、坪庭風の場所があったりと変化に富み、まわって戻ってくるので、初心者向きの短めコースでありながら充実感が感じられると思います。白駒の池駐車場を拠点にして同じように一周することもできます。

安全登山の注意点

ここ北ハケ岳周辺でも森林限界の2500m以上で起きていた事故、怪我、道迷いが目立ってくるようになりました。背景には登山者の高齢化、登山計画の不備などが挙げられます。優しい北ハケ岳とはいえ、体力にあった登山計画で楽しんでいただきたいと思います。

事故を乗り越えて

当館は大正11年創業、皆様からの応援のおかげで100年を超える山小屋となりました。8年前、火災の事故にて新館を焼失してしまいましたが、皆様のご協力のもとわずか9カ月で再建することができました。

当初から定評をいただいていた食事内容でしたが、リニューアルさせていただき、お客様に安心安全な食事をお届けするため素材にこだわり、半年かけ自家製野菜を栽培し、ご提供しています。市販されていない珍しい野菜も提供しています。宿泊の食事のみならずランチ、カフェも一新させていただきました。

スイーツにも力を入れており、食用ほおずきを使用したレアチーズケーキを現地で手作りし、数量限定で販売しています。日帰りのお客様にも喜ばれており、当館の人気メニューになりつつあります。



以前の山小屋



現在の山小屋



当館の想い

宿泊のお客様に対しては、登山の疲れを癒していただくためにお風呂をご用意し、入っていただいています。小屋の営業は冬季限定ではなく、通年営業をしています。マイナス20度の厳冬期でもこのお風呂をご用意しています。癒しのみならず身体を温めて体力の回復を図り、次の日に安全に下山してもらうためにお入りいただいています。

最後になりますが、皆様からの応援のおかげで100年を越える山小屋となりました。安心安全に登山を楽しんでいただく為、施設や食事をできる限りの範囲で提供していきますので是非お越しいただければ幸いです。

白駒荘

